

# 自主防災組織の設置を支援します

## 地域で作る

このたびの東日本大震災により、「地域で協力し合い、自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災組織の必要性があらためて見直されています。自主防災組織を設置し、日頃から災害に備えて防災訓練などを積み重ねることにより、被害の予防や軽減を図ることが可能となります。

市では、自主防災組織の設置を支援するために「下野市自主防災組織の手引き」を作成し、自治会に配布、また、市ホームページにも掲載しました。ぜひ、自主防災組織の設置に向けた取り組みにご活用ください。

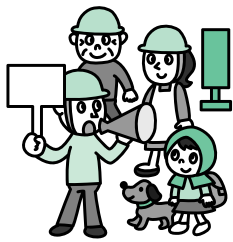
また、自主防災組織結成時の経費の軽減を図るため、「下野市自主防災組織活動補助金」を創設し、一定要件を満たした場合には、防災資機材の整備や防災組織活動に対して、補助金を交付しますので、併せてご利用ください。

## 自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、自主的に結成する組織であります。自治会等の地域で生活環境を共有している住民などにより、地域の主体的な活動として結成・運営されることが期待されています。

## 組織の主な活動

- ◇平常時
  - ・ 防災知識の広報・啓発
  - ・ 地域の災害危険の把握
  - ・ 防災訓練
- ◇災害時
  - ・ 情報収集・伝達活動
  - ・ 出火防止・初期消火活動
  - ・ 避難誘導活動
  - ・ 給食・給水活動



## 問い合わせ先

生活安全課  
☎(40) 5555

# 防災メモ

## 震災に備えて シリーズ④

今月は、もし屋内にいたときに地震があったときの対応です。

日中、深夜と地震は時間を選びません。様々な場面で地震に遭遇することが考えられます。

まずは自分の身を守るため落ち着いて行動しましょう。

## 枕元に懐中電灯・携帯ラジオ

料理をしていたなら、まず火の元を確認しましょう。ただし割れた食器やガラスが足元に散乱している場合があるので気をつけましょう。

大規模な地震は長時間停電になる場合があります。普段から枕元などに懐中電灯を用意しましょう。ろうそくは余震などで倒れ火災になる場合があります。注意しましょう。

また、停電中はテレビがつかみません。携帯ラジオ等を準備しておきましょう。

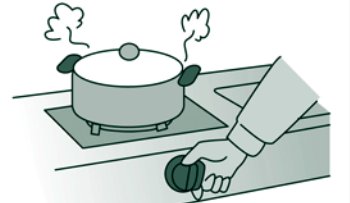
## 問い合わせ先

生活安全課  
☎(40) 5555

## ● 屋内にいるときは…

### 料理をしているとき

- グラツときたら、火の始末。「火を消せ!」と大声で叫ぶことも大事。
- ただし、身の安全確保が最優先。大地震を感知するとガスの供給を遮断する装置の整備も進んでいることから、決して無理はしないこと。
- 台所には食器棚や冷蔵庫など、危険がいっぱい。なるべく早く台所から離れる。



### 寝ているとき

- 布団やまくらで頭部を守る。
- 家具が倒れてこないところに身を伏せる。
- 暗やみでは、室内の様子を把握しにくくなるので、ふだんからまくら元には懐中電灯、携帯ラジオを。



### お風呂やトイレに入っているとき

- お風呂場やトイレは、比較的安全な場所といわれている。慌てて外に飛び出さない。
- 入浴中だったら、湯船の中で様子を見る。タイル等の落下物に注意。
- トイレでは、ドアを開け、様子を見る。

